

◇『ロジスティクス研究会の皆様へ』

(一社) 東京都トラック協会  
専務理事 山崎 正



日頃より、ロジスティクス研究会の皆様には大変お世話になっております。  
専務理事を仰せつかっております山崎です。その重責に身の引き締まる思いです。

9月に開催しました「トラックフェスタ TOKYO 2018」には、約2万人もの多くの都民の皆様にお越しいただき、東ト協の取り組みなどPRでき成功裏に終わることが出来ました。会員の皆様のご協力に感謝いたします。

私は、2年前から専務理事としてお世話になっており、当初は教育研修部を担当しておりましたので、明治記念館での円陣などロジスティクス研究会の皆様への熱い思いを知っております。

ご承知の方もおられると思いますが、関東運輸局の出身で、平成9年から10年まで当時の東京陸運支局貨物課の貨物第一係長として勤務しておりましたので、当時は壮年部として活動されていたことを思い出します。

また、平成20年から21年には関東運輸局自動車交通部の貨物課長として勤務しておりました。規制緩和後のトラック事業者数が1.5倍に増加したこと、参入規制のため新規許可に試験制度を導入したこと、当時のトラック事業の取引(サーチャージ導入・価格転嫁)業務にも従事し、荷主団体等に要請活動を実施するとともに、各県トラック協会と連携し適正取引協議会を開催し、さらに、軽油価格が高騰していたことから、国が初めて創設した燃料高騰対策補助金制度などの対応をしたことなどを思い出します。

昨年11月、標準貨物自動車運送約款が改正され運賃と料金を明確化し、1年経過した現在、全国平均で運賃・料金の変更届出が50%強(東ト協会員は届出が多い支部によっては90%強)との状況ですが、会員の皆様は、環境整備されたこの機会を逃すこと無く、届出がまだの方は、是非、運賃・料金の変更届出を行っていただきますようお願いいたします。

トラック業界は、人手不足、長時間労働改善、事故防止対策、適正運賃・料金収受、環境対策、駐車問題、オリ・パラ対応等の多くの問題が山積しております。会員の皆様のためにこれらの諸問題を少しでも解決出来るよう頑張る所存ですので、ロジスティクス研究会の皆様のご指導・ご協力をお願い申し上げます。

◇スケジュール《○ロジ研行事予定》

- 11/19(月) 東ト協チャリティゴルフ
- 11/28(水) 17:00~ 正副本部長会議(東武ホテルレパント東京3階『藤』)
- " 18:00~ ロジ研忘年会(東武ホテルレパント東京4階『錦』)
- 12/10(月) 16:30~ 第5回本部連絡会(東ト総会館6階中会議室)
- 12/18(火) 17:00~ 三組織連絡会(Bistro W)

◇『第1回トラック業界問題セミナー』

副本部長・研修委員長 前田 圭次郎  
〔世田谷支部 (株)若運〕



研修委員長を仰せつかっております前田で御座います。  
いつもロジ研の先輩方にはお世話になっております。  
今年度2期目の研修委員長になりますが、今期は副委員長に大先輩の下川さんと青年部本部長経験者の武井さんにお手伝い

頂き、どの様な研修会が我々の身になるのかを日々試行錯誤しながら考えております。

その様な中、今年度第一回目の研修は、我々業界から見る「働き方改革」をテーマに、国交省ホワイト経営の「見える化」検討会メンバーであり、当協会の物流経営士課程講師、さらには、各企業の社内研修や各県のトラック協会セミナーの講師としてご活躍されている、社会保険労務士・行政書士の瀧澤学先生をお招きし、ご講演頂きました。

先生のご講演のテーマは『時間外労働・上限規制への対応について』となっておりますが、皆様いかがでしたでしょうか？

個人的には、瀧澤先生のテンポと歯切れの良さに付いて行くのがやつの私でしたが(笑)

物流が大切だという事は、誰しもが考えれば分かる事だと思います。朝起きてから寝るまでに、我々の手に触れる物全てに物流が関わっているのも事実だと思います。

が、人間が快適に生活しようとすればするほど、その裏側には歪みがどうしても出てきます。その裏側を考えずに改革だけが先行してしまう...

そんな愚痴ばかり言ってもしょうがないので、今回の瀧澤先生の話をよく噛み砕き出来る事から遂行して『エンジンがかかる 街が動き出す』の精神で乗り切りましょう！



【講師 瀧澤 学氏】



【第1回 トラック業界問題セミナー】